



埼玉県舞踊協会
NO.34

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：藤井 利子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

「新年度にあたって」

埼玉県舞踊協会会長 藤井利子

8月1日、埼玉県舞踊協会の設立から携わり、長年理事として協会の発展に御尽力下さいました、相談役 若松美黄氏が逝去されました。ダンスを愛し、最後まで夢を持ち続けていらした若松先生を失い、寂しい限りです。心からご冥福をお祈り申し上げます。

最近、南海トラフの地震・津波の対策が話題になった折、四国では大きな山を作った折、おうとうという案が浮上しているとか、ヘリコプターの準備を始めようとしている県等の話を聞き、スケールの大きさ、不安の重大さに感じ入りながら、古代から大きな天災で地獄を見ながらも、人々は知恵と行動で救われた命を今に繋いで、私達が生きて在る事を思いました。今、舞踊界も活動が苦しい下降線上にあります。次世代に、舞踊芸術の夢を手渡せるよう、会員の皆様とともに、今年度もしっかりと踏み張って頑張りたいたいと思います。

「理事をお引き受けするに当たり」

山中有子

長い間、埼玉県舞踊協会にご尽力くださった新野正代先生が理事をご辞退され、繰り上がり選出されました。

舞踊協会に入会して32年間、故 藤井公先生をはじめ、故 若松美黄先生や諸先輩のご指導を賜りたくさんの勉強の場を戴きました。ゆえに現在があると思ひ、感謝の念に堪えませぬ。身体の動くうちに少しでもご恩返しをいたしたく、お引き受けいたします。

学校教育でのダンス必修化に従い、舞踊協会のあり方も変革を求められる時期に入りました。諸先輩の先生方がお作りくださった埼玉県舞踊協会の歴史を踏襲しつつ、微力ではあります。協会の皆様のお役に立ちたく存じます。皆様のご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

コレオグラファーの目

～スペシャル～ vol.10

30周年を迎えた埼玉近代美術館と10回目を迎えるコレオグラファーの目がタッグを組む！美術とダンスのコラボレーション特別企画にご期待下さい。

2012.11.10(sat)
埼玉県立近代美術館

評 モダンバレエ部門

舞踊評論家 立木燂子

第45回目を迎えた埼玉舞踊コンクール。モダンダンスの部(成人)の審査を終え、印象に残ったのが多様性である。それぞれ個性が光り、上位では実力が伯仲し、順位をつけるのが難しいという思いにもかられた。様式性の高いバレエに比べ、個性そのものが魅力となりえるモダンダンスにおいて、踊りの巧拙を点数化するのには難しいところがある。とはいえ、複数の審査員による厳正な審査を通して優秀は自ずと浮上した。踊りに強度を与えるテクニクの問題ばかりでなく、「表現」と向き合う真摯な姿勢が他者に伝える力。説得力を生んだ舞台が光った。踊り手が作品の奴隷であってはいけない。作品をどう解釈し、舞台という時空間をどのように構築するか。短い時間ではあるが、起承転結、作品を生きて、その心を伝える力量が問われるのだ。

上位入賞者に男性が並んだのも、そのことと無縁ではないかも

評 モダンバレエ部門

舞踊評論家 上野房子

筆者にとって、コンクールのモダンダンス部門審査、初体験。まずは、90名の決戦出場者が、大きなミスもなく踊ったことに敬意を表したい。各人の持ち時間は3分。起承転結のあるドラマ、あるいは大自然の営みや種々の情感を描くことのできる時間である。この3分のために、どれほど多くの汗(涙?)が流されたのか。ほとんど忘れて、出場者がジュニア世代であることを意識しなくなった。それほど彼らの踊りがよく訓練され、作品も相応に熟達していたからだ。

今年度のモダンダンス2部では、主眼からその若者ならではの感覚を引き出した作品や勢いのある表現が上位に入った。

靴の少女(第3の2位)で良く知られた物語を現代に翻案した。藤井楓の「希望を求めて」ネロの詩(うた)「第3の3位」は歴史に自らの洞察を加えた力作だ。ダンサーとして可能性を感じさせた才能は多かつた。豊島愛菜は「山のぼる」で石井漢をはじめ様々な先人が取り組んだテーマに挑んだ。高橋和花による「光と闇の中で」は心象世界を鮮やかに描いた。伊藤香乃の「麦わら帽子」は夏の情景を綴った。創作として興味深い作品も多かった。山田菜月「からくり童女」は伝統文化を巧みに舞踊化してみせた。高橋の葉「吉田みなみ・田辺会里加・早川愛澄「アメーバの行進」はユニークな作品となった。清野ひなたの「私はダリア」は空間構成で優れた表現をみせた。佐々木美怜「風のメロヴェに乘って」は展開で工夫をみせた。

早い段階から芸術活動と向かい合うことは重要なことだ。参加者の将来の活躍が楽しみだ。

第45回 埼玉全国舞踊コンクール

7月22日～29日 さいたま市文化センター 大ホール・小ホール



主催○埼玉県舞踊協会 共催○(財)さいたま市文化振興事業団
後援○埼玉県/埼玉県議会/埼玉県教育委員会/埼玉県文化団体連合会/朝日新聞さいたま総局/埼玉新聞社
東京新聞さいたま支局/毎日新聞さいたま支局/読売新聞さいたま支局/テレビ埼玉/チャコット(株)
(社)現代舞踊協会/(公社)日本バレエ協会/(財)橘秋子記念財団

モダンバレエ

モダンバレエ 1部(成人)

木原浩太

歴史のあるコンクールでの第1位受賞に感謝の気持ちで一杯です。この受賞を大きな一歩とし、これからも踊り続けることの喜びを噛み締めながら舞踊人生を歩んでいきたいと思ひます。ありがとうございました。

- 第1位 橘秋子賞・藤井公賞 木原浩太
県知事賞・(社)現代舞踊協会賞
- 第2位の1 高橋純一
県議会議長賞
- 第2位の2 土田貴好
県教育長賞
- 第3位の1 大前裕太郎
県文化団体連合会会長賞
- 第3位の2 星利沙
県文化団体連合会会長賞
- 第3位の3 藤井彩加
朝日新聞社賞 海保文江
埼玉新聞社賞 津田ゆず香
テレビ埼玉賞 佐藤伊都美
東京新聞賞 徳江みさほ 五十嵐耕司
毎日新聞社賞 玉田光子
読売新聞社賞 森山結貴
チャコット賞 船木こころ

1部成人の部

モダンバレエ ジュニアの部

千田沙也加

この度は、素晴らしい賞を頂き、驚きと同時に責任の重さを感じています。私にチャンスを与え、ご指導下さった水野先生、振り付けて下さった多麻紀さんに感謝しています。そして今回の受賞は、ダンサーとして未熟な私に更なる努力と追求が必要だと気付かせてくれました。ありがとうございました。

- 第1位 橘秋子賞・津田郁子賞 千田沙也加
県知事賞・(社)現代舞踊協会賞
- 第2位の1 山之内理香子
県議会議長賞
- 第2位の2 天野真希
県教育長賞
- 第3位の1 森田裕稀
県文化団体連合会会長賞
- 第3位の2 今井翠
県文化団体連合会会長賞
- 第3位の3 有明歩
朝日新聞社賞 中野真李
埼玉新聞社賞 細田侑希
テレビ埼玉賞 高城愛未
東京新聞賞 岸野奈央
毎日新聞社賞 佐々木おる
読売新聞社賞 小澤早嬉
チャコット賞 遠藤若葉

ジュニアの部

モダンバレエ 2部(児童)

高城菜都末

第1位をただけでとてもうれしいです。私はこの作品が好きで、お月様にささげる気持ちを大切に踊りました。たくさんの方を教えた下さった先生にとっても感謝しています。ありがとうございました。

- 第1位 橘秋子賞・津田郁子賞 高城菜都末
県知事賞・(社)現代舞踊協会賞
- 第2位の1 宮口真緒
県議会議長賞
- 第2位の2 渡邊瑠莉
県教育長賞
- 第3位の1 向井万柚子
県文化団体連合会会長賞
- 第3位の2 斎藤ゆきの
県文化団体連合会会長賞
- 第3位の3 藤井颯
朝日新聞社賞 山田菜月
埼玉新聞社賞 豊島愛菜
テレビ埼玉賞 タルマン磨野
東京新聞賞 中井香里
毎日新聞社賞 高橋和花
読売新聞社賞 久保田祥貴
チャコット賞 中嶋くるみ

2部児童の部

